



# 地域への思い託して

今年から利用しやすくなるというふるさと納税に興味があります。どんな仕組みで、納めたお金はどのように使われているのでしょうか？ 岐阜県多治見市・西尾さとみさん(66)

## 志あるお金 有意義に使って

ふるさと納税の普及啓発に努める 吉戸勝さん



よしと・まさる 1974年生まれ。NPO法人「NPO支援全国地域活性化協議会」理事長。ふるさと納税に関する自治体への支援や提案活動を行う。

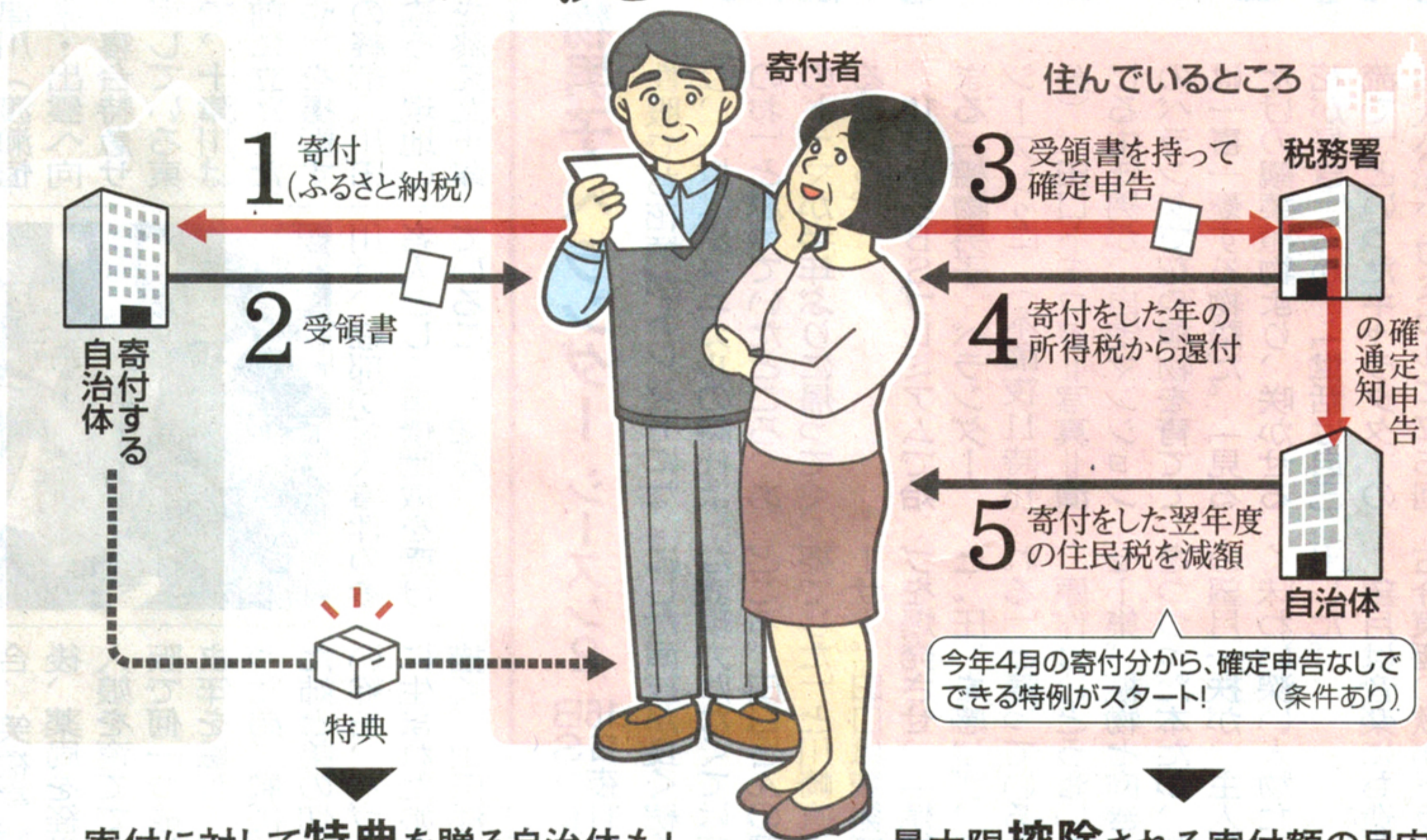
生まれ育った地元を応援したい。思いの地を応援したい。それぞれの「地域への思い」を形にするため、税金を支払う自治体と使途を納税者自身が選ぶ。それがふるさと納税の趣旨です。

ふるさと納税は自治体を選び、寄付することから始まります。私たちが運営するポータルサイト「ふたぐす」では、熱心な自治体が自由に情報を発信しています。

初心者が気になるのは制度の内容をはじめ、寄付に応じてもらえる特典や寄付金の使い道でしょう。特典の高額化については、

制度の趣旨から外れると批判されています。ただそれは別に「心の交流」を促すユニークな特典もあります。栃木県那須塩原市では「ふるさと市民カード」がもらえ、市内の宿や店舗で優待サービスが受けられます。実際に観光客も増えているようです。植樹ツアールなど「体験型」の特典も各地で好評です。

## ふるさと納税の流れ



今年4月の寄付分からは、確定申告なしでできる特例がスタート！（条件あり）

### 寄付に対して特典を贈る自治体も！

寄付者本人の給与収入	独身	夫婦	夫婦と高校生の子1人
300万円	2万8千円	2万円	1万1千円
500万円	6万1千円	5万2千円	4万円
1000万円	17万5千円	16万4千円	15万2千円

寄付者本人の年金収入	夫婦
200万円	—
300万円	2万2千円
400万円	4万円

落合孝裕税理士が試算。寄付額は今年1月以降の数字で、目安。うち2千円は自己負担。「夫婦」は寄付者の配偶者に収入がない場合。「年金収入」は本人が65歳以上、配偶者が69歳以下。寄付額は条件によって異なる

北海道夕張市  
夕張メロン

寄付額 1万5千円以上

山形県白鷹町  
米沢牛

寄付額 1万円以上

群馬県草津町  
温泉感謝券

寄付額 1万円以上

徳島市  
阿波おどり観覧券

寄付額 3万円以上

### 寄付

## 自己負担は実質2千円

ふるさと納税は、寄付を決め、郵便振替やクレジットカード決済などで寄付金払う。その年の寄付について翌年に確定申告をする。付金から自己負担分の2千円を除いた額が所得税や個人住民税の控除で戻る。

上限額は年収や家族構成で異なり、年収が多いほど高い。税理士の落合孝裕さんの試算では、年金収入300万円の人は、年2万2千円までは2千円の自己負担で済むが、それを超えると持ち出しが増える。年金収入が200万円だと税金がかからない分、計算上は控除が受けられない。住宅ローン控除などの控除の有無や額で上限額は変わるため、試算は目安。正確な額は居住の市区町村に確認を。

自治体によっては、寄付の額に応じて「特典」がもらえる。また寄付金の使い道を明示する自治体もある。

総務省の2013年調査によれば、特典がある自治体は全体の約5割。肉や魚などの特産品が一般的で、1人の寄付者が複数の自治体から受け取ることも可能だ。受付数や受付期間を限定したり、寄付が殺到して受付を締めきったりする特典もあるため注意。

「年収300万円からのふるさと納税」を著した経済アナリストの森永卓郎さんは、「特典は地域の産業振興につながる」と話す。自身は温泉で有名な群馬県草津町に寄付をした。同町では1万円以上

実際に利用した人は、二つのパターンに分かれる。まずは寄付先をあらかじめ決めていた人。北海道当麻町出身で埼玉県在住の男性(62)は昨年、故郷に2万円を寄付した。きっかけは地元に住む友人との電話。「昔の話で盛り上がり、育ててくれた故郷に何か貢献しよう」と。今は仕事があり、頻りに帰省することは難しい。町がにぎわっているよう、寄付金を有効活用してほしいと願う。

もう一つは寄付先を探して選ぶ人。神奈川県に住む会社員女性(44)は、実家が埼玉県で近いため「ふるさと感」が薄い。ふるさと納税に関心を

### 特典

## 旅館で使える「感謝券」も

### 期待

## 「ふるさと」との架け橋に

持ち、ネットで見つけたのが、ひょうろ書を受けたリングを特典にする山形県天童市だった。「地域の農家の役に立ってるんじゃないか」。昨年寄付をするともまもなく、自宅に箱詰めのリノゴが届いた。少し傷はあったが、甘くておいしかった。新たな寄付をいま考えている。

思いをはせる「ふるさと」はそれぞれ。ふるさと納税は人と地域の架け橋になっているともいえる。ただし、一部自治体が「特典の高額化」に走るなどの問題点も。総務省は今年、自治体に対して高額な特典や換金性の高い特典を自粛するよう求める通達を出した。(坂井浩和)

ふるさと納税は、ふるさと納税の趣旨です。ふるさと納税は自治体を選び、寄付することから始まります。私たちが運営するポータルサイト「ふたぐす」では、熱心な自治体が自由に情報を発信しています。

ふるさと納税は、ふるさと納税の趣旨です。ふるさと納税は自治体を選び、寄付することから始まります。私たちが運営するポータルサイト「ふたぐす」では、熱心な自治体が自由に情報を発信しています。

ふるさと納税は、ふるさと納税の趣旨です。ふるさと納税は自治体を選び、寄付することから始まります。私たちが運営するポータルサイト「ふたぐす」では、熱心な自治体が自由に情報を発信しています。

ふるさと納税は、ふるさと納税の趣旨です。ふるさと納税は自治体を選び、寄付することから始まります。私たちが運営するポータルサイト「ふたぐす」では、熱心な自治体が自由に情報を発信しています。

ふるさと納税は、ふるさと納税の趣旨です。ふるさと納税は自治体を選び、寄付することから始まります。私たちが運営するポータルサイト「ふたぐす」では、熱心な自治体が自由に情報を発信しています。

ふるさと納税は、ふるさと納税の趣旨です。ふるさと納税は自治体を選び、寄付することから始まります。私たちが運営するポータルサイト「ふたぐす」では、熱心な自治体が自由に情報を発信しています。

ふるさと納税は、ふるさと納税の趣旨です。ふるさと納税は自治体を選び、寄付することから始まります。私たちが運営するポータルサイト「ふたぐす」では、熱心な自治体が自由に情報を発信しています。